

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	: リピドール
会社名	: 共立製薬株式会社
住所	: 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-5
担当部門	: 品質保証部
電話番号	: 03-3264-7196
メールアドレス	: hinshitsu@kyoritsuseiyaku.com

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
物理化学的危険性	
可燃性固体	: 区分に該当しない
自然発火性固体	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	: 分類できない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入・蒸気）	: 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 区分 2
発がん性	: 区分 1A
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: 区分 2（呼吸器、免疫系、腎臓）
誤えん有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期（急性）	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない
絵表示またはシンボル	
	
注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 遺伝性疾患のおそれの疑い : 発がんのおそれ : 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器、免疫系、腎臓）

注意書き

【安全対策】

- : 使用前にすべての安全説明書を入手し、読み、従うこと。
- : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面／聴覚保護具を着用すること。
- : 煙／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

【応急措置】

- : ばく露またはその懸念がある場合は、医学的助言を求めること。
- : 気分が悪い時は、診察を受けること。
- : 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要に応じて医師の手当てを受ける。
- : 皮膚に付着した場合：直ちに石けんで洗い落とし、多量の水で洗い流す。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受ける。
- : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用の場合、容易に外せる場合は外し洗浄する。必要に応じて医師の手当てを受ける。
- : 飲み込んだ場合：直ちに水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師の手当てを受ける。

【保管】

- : 施錠して保管すること。
- : 遮光した密閉容器に入れ、涼しい場所にて保存すること。

【廃棄】

- : 内容物、容器を国または都道府県・市町村条例などの規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量
大豆	非開示
セピオライト	
二酸化ケイ素	

労働安全衛生法施行令で定める表示・通知義務対象物質

結晶質シリカ：0.1%以上

成分名	CAS 番号	化管法	安衛法
結晶質シリカ	14808-60-7	非該当	政令番号：別表第9の165の2 政令名称：結晶質シリカ

※セピオライト含量中に最大5%含有する。

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要に応じて医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに石けんで洗い落とし、多量の水で洗い流す。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受ける。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用の場合、容易に外せる場合は外し洗浄する。必要に応じて医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 : 燃焼により有害ガスを発生する恐れがあるので注意する。 : 消火活動は風上から行う。 : 周辺火災の場合、周辺の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
適切な消火剤	: 水、泡、粉末、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	: 特に情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものが皮膚に付着したり、粉じんを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 回収、中和	: 飛散したものは、掃き集めて空容器に回収する。漏洩した場所は、多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	: 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

技術的対策 : 皮膚に付いたり、粉じんを吸入しないように適切な保護具を着用する。

注意事項 : みだりに粉じんが発生しないように取扱う。

保管上の注意事項

保管条件 : 施錠して保管する。
: 遮光した密閉容器に入れ、涼しい場所にて保存する。
: 高温多湿の場所、直射日光を避け、室温に保管する。
: 開封後は速やかに使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

管理濃度 : データなし

許容濃度 : データなし

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスクを着用する。必要に応じて防じんマスクを着用する。

手の保護具 : 保護手袋を着用する。必要に応じて耐溶剤性手袋を着用する。

眼の保護具 : 保護眼鏡を着用する。必要に応じてゴーグル型または保護面等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 黄灰色～白色の粉末

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の取扱いでは安定である。

危険分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素

避けるべき条件 : 特に情報なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口） : 十分なデータがなく、分類できないとした。

急性毒性（経皮） : 十分なデータがなく、分類できないとした。

急性毒性（吸入・蒸気） : 十分なデータがなく、分類できないとした。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 十分なデータがなく、分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 : 十分なデータがなく、分類できないとした。

呼吸器感作性 : 十分なデータがなく、分類できないとした。

皮膚感作性 : 十分なデータがなく、分類できないとした。

生殖細胞変異原性	: 本製品の成分は、区分2および区分に分類できない成分が含まれているが、含有量に基づき区分2とした。
発がん性	: 本製品の成分は、区分1Aおよび区分に分類できない成分が含まれているが、含有量に基づき区分1Aとした。
生殖毒性	: 十分なデータがなく、分類できないとした。
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 十分なデータがなく、分類できないとした。
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: 本製品の成分は、区分1（呼吸器、免疫系、腎臓）の成分が含まれているが、含有量に基づき区分2（呼吸器、免疫系、腎臓）とした。
誤えん有害性	: 十分なデータがなく、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	: 本製品の成分は、区分1、区分2、区分3の成分が含まれているが、含有量に基づき区分2とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	: 本製品の成分は、区分1、区分2、区分3の成分が含まれているが、含有量に基づき区分2とした。
オゾン層への有害性	: 十分なデータがなく、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

廃棄する場合には、都道府県又は市町村条例等に従い処分すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 非該当
国内規制（適用法令） （陸上・海上・航空規制）	: 特段の規制なし（非危険物）
容器が破損しないように充分注意するとともに、破損や漏出がないことを確認する。	

15. 適用法令

飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律	: 酵素分解大豆レシチン入り混合飼料 A 飼料
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物 結晶質シリカ 別表第9の165の2 （含有率 \geq 0.1%） （本製品セピオライト中に含有する。）
消防法	: 非該当
化学物質排出把握管理法	: 非該当

16. その他の情報

【引用文献】

- ・ 自社データ
 - ・ 安全衛生情報、GHS 対応 モデル SDS 情報
 - ・ (独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) GHS 分類結果
 - ・ (独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) 化学物質総合情報提供システム
-